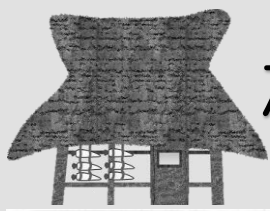


なとセン 入居団体紹介



なとり「いにしえ」を語る会

このコーナーでは、名取市市民活動支援センターに入居されている団体を紹介しています。今回は、なとり「いにしえ」を語る会 の紹介です。



いにしえを語る熊谷恵一さん

なとり「いにしえ」を語る会は、古代から近世までの時代の歴史変遷、ロマンを語り、歴史に対する思いを共有することにより、祖先の残した文化遺産を大切に愛護し地域文化の発展に貢献することを目的に平成22年6月19日に発足しました。「“きのう”を知らずして、明日を語れない。歴史には明日を解く鍵がある」をモットーに、研究及び学習会の実施のほか、神社やお寺、古墳を見に行ったり、古街道を歩くなどの現地踏査・歴史探訪会などを行っています。

～古～ いにしえを知ること

神社やお寺があることは知っていても、その成り立ちを理解していないと本当の意味で歴史をわかったことにはなりません。古代からの歴史を学ぶことで、その時の日本の歴史はこうだった、その中で東北はどうか、宮城はどうか、名取はどうか？と突き詰めて、深く理解することができる。会長の熊谷恵一さんは語ります。この、大きな流れから歴史を捉えて行こうという幅広い歴史観がなとり「いにしえ」を語る会の根幹です。



仙石次男さん
福原稔さん

松本美樹さん
熊谷恵一さん

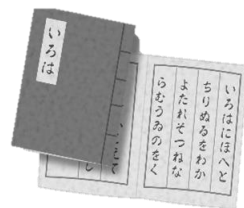
歴史を好きになってほしい

最近、歴史とただただでも、「むずかしい」という先入観から敬遠される傾向にあります。確かに、受験中心の教育課程、都市化や核家族化で地域の歴史を語り継ぐ機能が低下している現状で、郷土の歴史を学ぼうとする人も機会も少なくなっています。

名取には、古墳、神社、寺院などたくさんの文化遺産があります。神楽や祭りは、歴史を学ぶための動機づけになります。歴史に興味を持って、もっと好きになってほしい！！市民レベルで、歴史を好きになってもらう活動をしていきたい！！これが、なとり「いにしえ」を語る会の思いです。

歴史の変遷、 ロマンを語り合う

歴史を好きな人が集まって、よろずを語り、よもやま話に花を咲かせ、誰もが自由に楽しく歴史の蘊蓄(うんちく)を語り合える場をつくるため、なとり「いにしえ」を語る会では、毎月第3土曜日に定例会をなとセンで開催しています。会員のみならず、広く歴史に興味のある方ならどなたでも参加することができます。



なとり「いにしえ」を語る会

〒981-1232

名取市大手町五丁目6-1

名取市市民活動支援センター内 貸事務室
TEL 022-384-3240 (仙石)